



「日本経済を解説するヤンキー」

著：mihana

編集：あだん堂

発行：財研出版

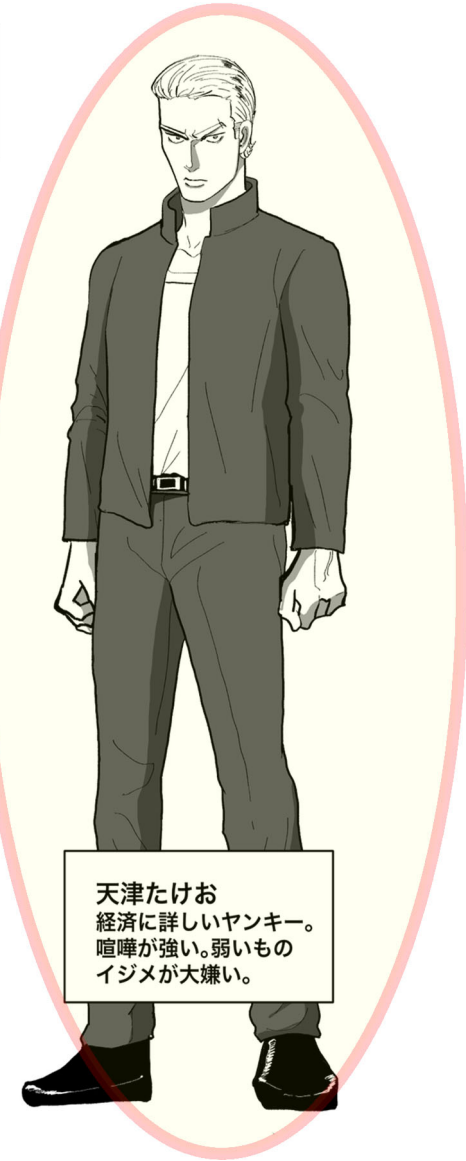
漫画本 A5 サイズ 144P

上原よしこ  
テニ●リを  
こよなく愛する夢女。  
夢は跡●キングダムに  
住むこと。

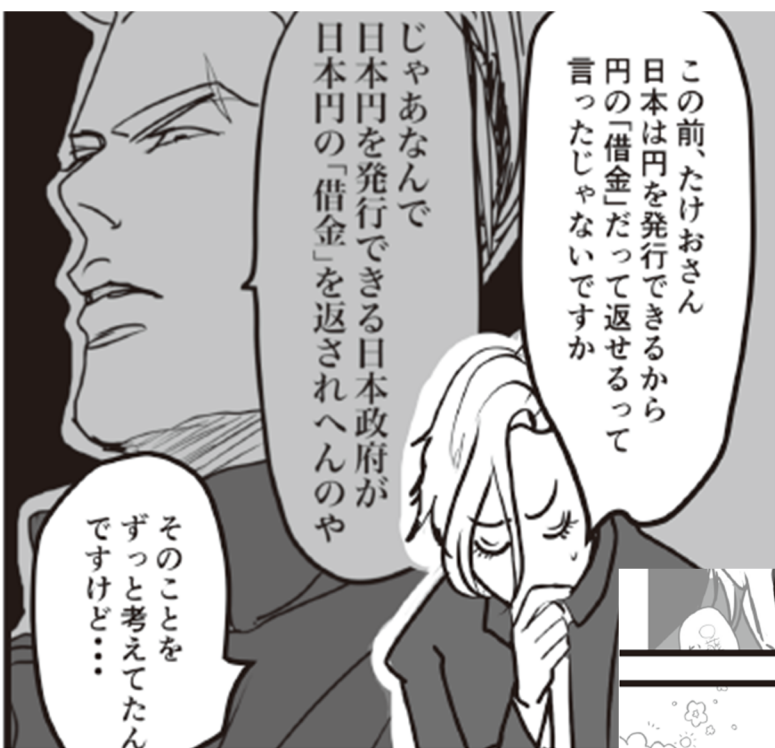


財前まもる  
たけおの幼馴染。  
元・財務省志望。  
実は家が金持ち。


神城あらた  
たけおを慕う  
心優しきヤンキー。  
姉と仲良し。




天津たけお  
経済に詳しいヤンキー。  
喧嘩が強い。弱いもの  
イジメが大嫌い。








政府が  
橋を作ったりとか  
公共事業を  
するときも  
一緒ですよ



日本政府は  
お金が足りないなんて  
ことにはならないけど  
人やモノが足りないことは  
十分にありうる



あるいは  
知識を持った  
技術者が  
いなければ  
橋も作れない

日本に生きる人たちが  
モノやサービスを  
生産してくれる



支える

日本円の価値

だからこそ日本円で  
そのモノやサービスと  
手に入れることができる

日本円に価値が  
生まれるんや



※画像↓[https://twitter.com/soviet\\_usako/status/1483382058827223040?s=21&t=K4akBHUmAMjJfo0Pz91BQ](https://twitter.com/soviet_usako/status/1483382058827223040?s=21&t=K4akBHUmAMjJfo0Pz91BQ)

今の日本人が  
良い暮らしを  
できるのは



わたらの  
ご先祖さまが  
しっかり働いて  
日本に供給能力  
(モノやサービスを  
作る力)を残して  
くれたからや





ところで私は、働けない状況で介助が必要な方から、生きる価値について質問されたことがあります。

昨今、地位や影響力のある人でさえ、障がい者や高齢者を“社会のお荷物、とみなすような発言をしたりするからでしょうか。

お金や生産性という物差しで、人間の価値を測るような世の中の風潮が強まっているのは、皆さんもお感じになっているところではないでしょうか。

大前提として、私たちの社会は需要と供給で成り立っています。これが相互に作用し合い、豊かさへと繋がっています。

たとえば介助が必要な人は世の中に介護という需要を生み出し、それにより供給が生まれていますよね。

つまり需要を通じて供給力アップにつながっているのです。

それは全体で見れば、自分ひとりで何でもできる人よりも社会貢献しているともいえます。

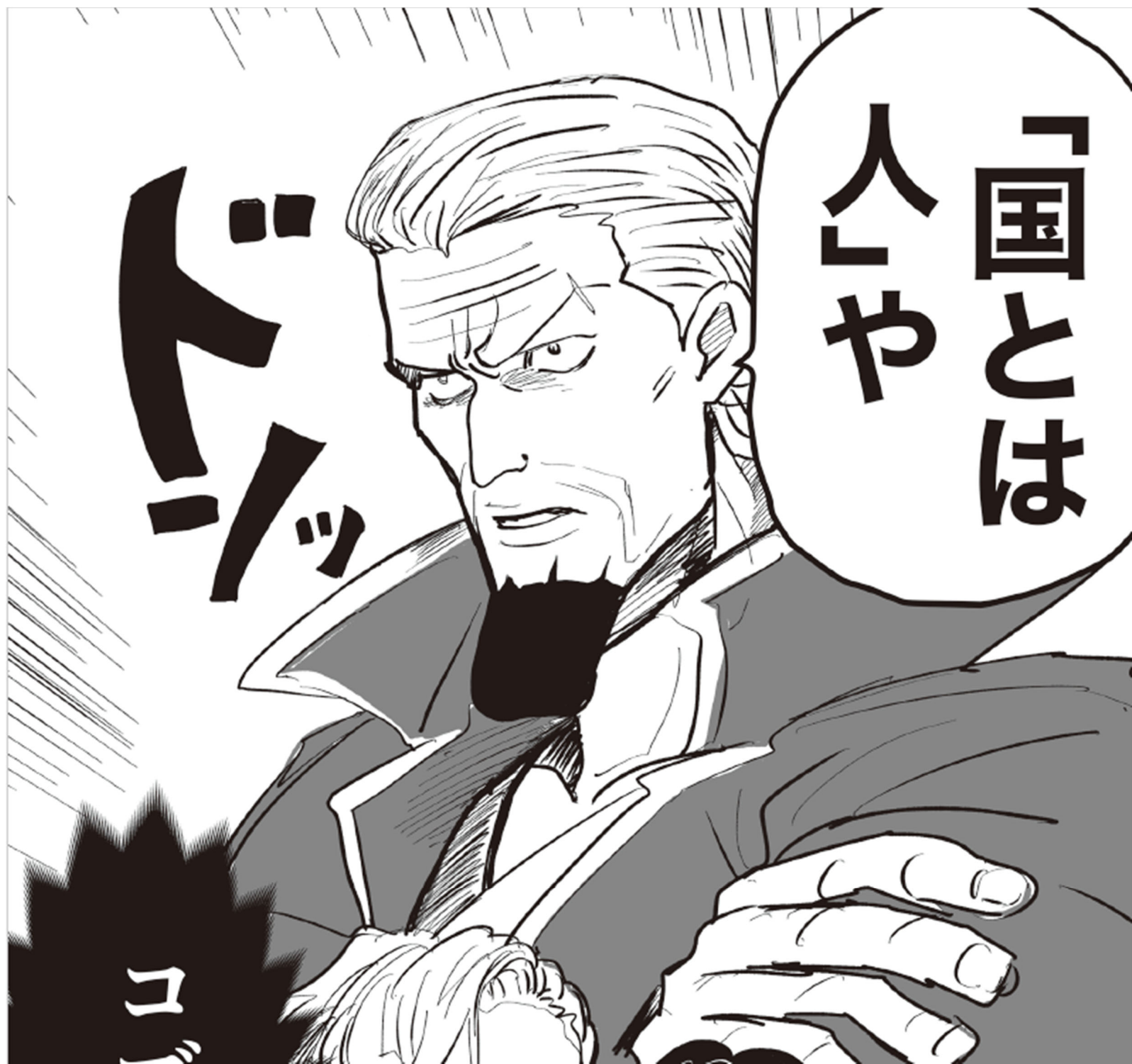
目先のお金だけを追いかけていけば見えないものは本当にたくさんあります。



ほんまに重要で  
限られた財源は

その国に生きる  
人たちが





ゴッ  
ッ

人  
や  
国とは

コ